

経済日誌2010年8月

注)1DH(ディルハム)=約10円

I. モロッコ国内経済

1. 指標等

①2010年上半期の貿易収支¹

輸入・輸出とも増加。前年同期比で輸入額は12.3%、輸出額は16.5%の増加。カバー率(輸出額/輸入額)も前年同期の44.2%から45.9%へ増加した。

	2009年上半期	2010年上半期	推移
輸入額	129,326	145,196	12.3%
輸出額	57,221	66,672	16.5%
貿易収支	-72,105	-78,524	-8.9%
カバー率 (輸出額/輸入額)	44.2%	45.9%	

(単位:100万DH)

(ア)輸入:原油の輸入額が大幅増加、自動車も増加したが、産業用車両はやや減少。

	2009年上半期	2010年上半期	推移
原油	6,985	11,959	71.2%
原油以外全体	122,340	133,237	8.9%
食料品	13,716	13,429	-2.1%
小麦	4,034	2,706	-32.9%
設備・機械類	33,822	33,367	-1.3%
消費財	25,948	27,456	6.2%
自動車	4,152	4,609	11.0%
産業用車両	2,805	2,767	-1.3%

(単位:100万DH)

原油輸入総量が増加(253万トン、前年同期229万トン、前年同期比13.3%増)したのと同時に、原油輸入価格が上昇(4718DH/トン、前年同期は3040DH/トン)し、原油輸入額が拡大した。

¹ モロッコ為替局ホームページ、www.oc.gov.ma

穀物輸入額は輸入量および輸入価格が減少したため。2010年1月から6月までで147万トンを入力（前年同期は168万トン）。1トン当たりの価格は前年同期2398DHから1838DHと低下した。

（イ）輸出：燐鉱石・燐酸関連輸出額が増加、燐鉱石以外の輸出額も前年同期比で増加傾向。

	2009年上半期	2010年上半期	推移
燐鉱石及びその派生品	8,768	15,639	78.4%
燐鉱石以外	48,452	51,033	5.3%

（単位：100万DH）

- 燐鉱石の平均輸出価格は1トン812DH（前年同期1,312DH）
- 燐酸の平均輸出価格は1トン5,251DH（前年同期5,367DH）
- 肥料の平均輸出価格は1トン3,320DH（前年同期2,835DH）

燐鉱石については、輸出価格は減少したが、輸出量が大幅に増加（4,862千トン、前年同期比103%増）ため、輸出総額は増加している。

電気ケーブル、既製服が大幅減少。

	2009年上半期	2010年上半期	推移
電気ケーブル	3,683	1,702	-53.8%
トランジスター	1,730	2,441	41.1%
食料品	12,765	11,774	-7.8%
既製服	10,008	8,330	-16.8%

（単位：100万DH）

②その他指標

観光収入および在外モロッコ人からの海外送金は前年同期比で増加に転じたが、海外からの直接投資は依然として減少傾向。外貨準備高も減少。

	2009年上半期	2010年上半期	推移
観光収入	20,646	22,709	10.0%
在外モロッコ人からの海外送金	22,554	25,136	11.5%
コールセンター業務収入	1,627	1,940	19.2%
海外からの直接投資	13,321	10,845	-18.6%
外貨準備高	192,714 (2009年12月末)	172,867 (2010年6月末)	-19.84%

（単位：100万DH）

③2010年第二四半期失業率²

・失業率:8.2%(前年同期:8.0%)

都市部失業率:12.7%(前年同期:12.6%)

農村部失業率:3.3%(前年同期:3%)

建築・公共事業で109,000の、サービス業で92,000の、工業で28,000の新規雇用が創出されたが、農業分野では逆に83,000の減少。

④在外モロッコ人からの送金³

在外モロッコ人からの送金は、フランス、イタリア、スペインの上位3カ国で全体の3分の2を占めている。送金総額は2009年で502億DH、観光収入の530億DHについて外貨収入の要となっている。送金額は海外直接投資額の約2倍に相当する。在外モロッコ人からの送金の4分の3は家族への仕送りが目的となっており、家族の大事な収入源となっている。

在外モロッコ人による海外送金(2009年)(在住人数は2007年の値)

	フランス	イタリア	スペイン	ベルギー	米国	ア首連	独	オランダ
在住人数	1,100,000	379,000	547,000	285,000	100,000	13,040	-	278,000
送金額(百万DH)	21,455	5,869	5,805	2,513	2,342	2,351	2,071	1,963
全体にかかる割合	42.7%	11.7%	11.5%	5.0%	4.7%	4.7%	4.1%	3.9%
一人当たり送金額(DH)	19,505	15,485	10,612	8,818	23,420	180,291	-	7,061

(一人当たり送金額は、表中の在住人数、送金額から当館で計算した参考値。)

2. 建設・公共事業・インフラ等

①Oued Chbikaのリゾート開発⁴

アガディールから南に400km、Tan Tanから南へ50kmに位置するOued Chbikaに大規模なリゾート施設を開発する。デベロッパーはOrascom Development Holdings(65%)とCDG Développement(35%)のジョイントベンチャーであるOued Chbika Développementで、8つのホテル、一戸建て、マンション、リアドなど含む1851棟、27ホールを有するゴルフ場、メディナ、博物館などを建設する。敷地面積は1500ヘクタール。工事開始は2010年10月で第一フェーズ完成は2015年の予定。本計画は拡張アズール計画(Le plan azur extension)における三つのサイトの一つで、投資総額は60億DHに上る見込み。

² モロッコ高等計画委員会(統計局),Haut Commissariat au Planホームページ

³ エコノミスト(8月12日)

⁴ エコノミスト(8月3日)

②カサブランカのメディナ(旧市街)の再整備⁵

カサブランカメディナ歴史的保存地区の再整備が決定した。第一工期(2011年から2013年)に学校、宗教的建物などの改築などが行われる予定で、3億DHを充当(うち2億DHは内務省、1億DHはハッサン2世基金が拠出)。第二工期ではメディナにおける崩壊寸前の伝統住居などを改築する。同メディナは人口密度も高く、手工芸などの小売店も密集する地域で改築が急務であった。現在でも同メディナ住民の20%は水道が、6%は電気がないところで暮らしている。

③エッサウィラ近郊のリゾート開発⁶

エッサウィラから南70Km のところに「Tafedna Bay」と称したリゾート地が開発される。デベロッパーはスペイン企業の Grupo de Construcción y Planificación 社。同社はモロッコに子会社 Unico Tourisme Développement 社を立ち上げた。面積452ha に5つ星ホテル、ヨットハーバー、ゴルフ場などが建設される予定で投資額は70億DH。そのうち30%が同スペイン企業で70%が中国投資会社 Zhong Yu Tong Da 社が出資する。この2社の共同開発は3年前から進められていたが手続きで遅滞していた。3年前に同2社で同時に進められたドミニカ共和国のリゾート開発は第二フェーズに入っている。

④Aït Kamra(Al Hoceima)経済ゾーンの開発⁷

面積40ha の敷地に新たな経済ゾーン(168区画)を整備する。そのうち産業区域は18.5ha、ロジ区域3.9ha、商業区域2.3ha、手工業区域1.7ha、サービス区域0.3ha。MedZ は15億DHを投資。2010年8月に工事が開始、工期は1年間。

⑤カサブランカに手工業開発地区を建設⁸

カサブランカ(Mediouna 地区)に敷地7ヘクタールの手工業開発地区が建設される。2010年から2020年にかけてその他5つの地区が開発される予定。手工業開発については2006年に2015年までの開発計画「Vision 2015 pour l'Artisanat」が発表されており、同地区開発はその一環として行われるもの。「Vision 2015 pour l'Artisanat」によって、2006年から2015年までに手工芸分野における売上高を倍増させ、輸出高を10倍まで高め、GDPはプラス40億DH、新規雇用117,500人を目指している。

⁵ エコノミスト(8月30日)

⁶ エコノミスト(8月9日)

⁷ エコノミスト(8月10日)

⁸ エコノミスト(8月26日)

⑥カサブランカの路面電車の架線設置会社とレール設置会社が決定⁹

入札会社10社のうちフランス系の Cegelec 社がカサブランカのトラムウェイ(第1路線)の架線を設置することに決定した。投資金額は1億2千万DHで、工期は2010年11月から2012年まで。また、プラットフォームの建設とレールの設置については、トルコ企業 Yapi Merkezi が落札しており、投資金額は4億6700万DH。同トラムウェイは全長30km、48駅、平均時速20km、一日の乗客数キャパシティ28万人、運行時間は午前5時から午前1時までで、ピーク時には4分ごとの運行。

3. 農業・漁業

①軟質小麦輸入関税の一時撤廃¹⁰

ヨーロッパの干魃に起因する軟質小麦の生産量の減少で小麦の国際取引価格が上昇しているが、モロッコ政府は小麦確保に備え2010年9月16日から2010年12月31日までの期間、軟質小麦の輸入関税の撤廃を決定した。国内農業保護のため6月1日から135%の関税がかかっていた。

②中国緑茶の販売価格の上昇¹¹

5月に中国緑茶の販売価格が5%上昇したばかりだが、8月には新たに10%上昇した。ドル安、中国の豪雨による影響で中国緑茶輸出価格が上昇している。緑茶輸入関税は60.25%。お茶の市場自由化は1993年であるが輸入元は中国に占められているのが現状である。モロッコは中国緑茶の輸入国としては第1位で、2010年上半期で26,466トンを入力し、輸入額は4億4830万DH。輸入量は年々3~5%の割合で増加傾向にある。モロッコ人は一日平均二回お茶を飲むという。

4. 産業・エネルギー

①Tarfaya風力発電所の建設企業が決定¹²

Tarfaya より南2km に位置する Tarfaya 風力発電所建設に16社が入札していたが、モロッコ企業 Nareva Holding 社と英国企業 International Power 社のコンソーシアムが落札した。同風力発電所は当初200MWを予定し300MWまで拡張が可能。稼働時期は2011年の予定。

⁹ ル・マタン(8月25日)、エコノミスト(8月13日)

¹⁰ エコノミスト(8月27日)

¹¹ エコノミスト(8月24日)

¹² Le Matin du Sahara et du Maghreb(8月17日)

②Tifnitにおける海水淡水化プロジェクト¹³

Souss-Massa-Darâa 地方の水需要に対応するために Tifnit で海水淡水化プロジェクトが具体化した。同地域は現状のままでは深刻な農業用水不足に見舞われ、15000人が失業する計算になるという。同プロジェクトでは一日25万5000m³の海水を淡水化。2012年終わりから2013年初頭の稼働開始が期待されている。

5. その他

①モハメッド6世国王の革命記念日の演説¹⁴

20日、革命記念日の演説でモハメッド6世国王は①西サハラ問題の解決、②地方分権の推進、③環境に配慮した経済開発の推進について述べ、これまでの国家の方針を確認。環境及び再生可能エネルギーに関しては、「モロッコは、環境に配慮した経済の時代に足を踏み入れる。再生可能エネルギーの開発に力を注いでいる。エネルギー自給率の向上、経済発展、雇用創出といった観点から、これは歴史上の大きな転換である」と大きく触れた。

②オフショアリング世界ランキング¹⁵

米国系コンサルティング会社 At Kearney 社が、オフショアリング先のベスト50カ国を発表した。モロッコは30位。指標は合計10ポイントで計算され、モロッコは財政面(2.63ポイント/4)、人材面(0.93ポイント/3)、ビジネス環境(1.42ポイント/3)と評価され、人材面が足を引っ張った形となった。1位はインド、2位は中国、3位はマレーシア、4位はタイ、5位はインドネシアとアジア諸国がトップ5を占めた。また、他のアフリカ諸国では6位にエジプト、15位にガーナ、17位にチュニジア、26位にセネガル、モーリシャスが、39位に南アフリカがランク入りしている。

③大型スーパーマーケットMarjaneがBeni Mellalにオープン¹⁶

9日、全国で23店舗目になる Marjane が Beni Mellal にオープンした。敷地面積は2.5ヘクタールで650台収容の駐車場を有す。600名の雇用を創出。地域の活性化が期待される。

¹³ エコノミスト(8月30日)

¹⁴ エコノマップ(8月23日)

¹⁵ エコノミスト(8月13日)、The Shifting Geography of Offshoring, The 2009 A.T. Kearney Global Services Location Index, www.atkearney.com

¹⁶ オジヨドゥイ・ル・マロック(8月11日)

④電話通話料を段階的に引き下げ¹⁷

モロッコの電話通話料は国際的に見ても割高になっているが、モロッコ政府は2013年までに段階的に引き下げること決定。携帯電話については、どの電信電話会社も一分当たりの携帯通話料を現在の1.1～1.4DHから0.4DHまで引き下げる。

	6月30日 まで	7月1日～2011 年6月30日	2011年7月1日～ 2012年6月30日	2012年7月1日～ 2012年12月31日	2013年1月1日～ 2013年12月31日
携帯 IAM	1.1551DH	0.8317	0.6238	0.4865	0.4043
携帯 Médiatelecom	1.1551	0.9980	0.7186	0.5390	0.4043
携帯 Wana	1.4207	1.2309	0.8801	0.5965	0.4043
固定 Local IAM	0.1205	0.1155	0.1079	0.1007	0.0941
固定 Local IAM	0.3056	0.2817	0.2479	0.2182	0.1921
固定 Local IAM	0.4007	0.3860	0.3531	0.3230	0.2955
固定 Méditel		0.2693	0.2410	0.2157	0.1932
固定 Wana	0.4256	0.2693	0.2410	0.2157	0.1932

(8時から20時の通信料。20時から8時までと土日祝日は上記通信料の半額)

¹⁷ エコノミスト(8月6日)、L'Agence Nationale de Réglementation des Télécommunications(ANRT)ホームページ:
ww.anrt.ma

II. 諸外国等との関係

1. 外国政府との関係

①モロッコの三銀行がアフリカ輸出入銀行(afreximbank)に資本参加¹⁸

モロッコ政府は19日、1993年5月にコートジボワール アビジャンにて成立した、同銀行設立のための協約への参加を決定した。同銀行に資本参加するのは、バンク・ポピュレール Banque Populaire(BP)、モロッコ外国貿易銀行 Banque Marocaine du Commerce Extérieur(BMCE)、モロッコ農業信用金庫 Caisse Nationale du Crédit Agricole(CNCA)の三銀行。

2. 外国企業との関係

①石油会社シェル(Shell)が事業権の売却を検討¹⁹

シェルは、オランダの石油会社ヴィトル(Vitol)およびそのパートナー企業 Herios Investment との間で、モロッコも含むアフリカ19カ国での商業用燃料、潤滑油、液化石油ガス、ビチューメン、天然液体ガス等の事業権を売却する交渉を行っている。但し、事業権売却後も、シェルブランドでの事業が行われる見込み。

②トルコの経済ミッション来訪²⁰

4日、当ミッションとウワラルー ラバト市長が会見し、ラバトとイスタンブールおよびブルサ間のパートナーシップ協定に調印。また、当ミッションは、今年10月にイスタンブールで開催される、「発展におけるテクノロジーの役割」をテーマとした国際フォーラムへのモロッコ企業の参加を呼びかけた。

③矢崎モロッコ ケニトラに新工場建設²¹

投資総額は2億3600万DHで、自動車用ワイヤハーネス工場をケニトラに建設。予定従業員数は1600人で、敷地面積4ヘクタール。すでに建設工事は開始されており、2011年に完成予定。同社はすでにタンジェフリーゾーンで同系工場を2000年から操業している。

¹⁸ オージュールドワイ・ル・マロック(8月24日)

¹⁹ オージュールドワイ・ル・マロック(8月3日)

²⁰ エコノマップ(8月5日)

²¹ エコノミスト(8月23日)

3. 経済協力

①EUによる借款²²

借款総額 1 億3500万ユーロで、内訳は、零細農家の支援に7000万ユーロ、辺地における道路整備に5500万ユーロ、識字教育プログラムに1千万ユーロ。

②アフリカ開発銀行(BAD)による借款²³

借款額は2億300万ユーロで、ラバト・カサブランカ沿岸地域の上水道整備計画に充当。

③国際復興開発銀行(BIRD) による借款²⁴

ナドール・ドゥリウシ地方、サフィ・ユースフィア・シディ地方、ベンノール・エラシディア地方の上水道整備のため14億7000万DH、Oum Er Rabia 流域の上水道整備計画のため3億6300万DHの借款。

²² エコノマップ(8月10日)

²³ エコノマップ(8月23日)

²⁴ エコノマップ(8月23日)